



広報 No.40

2021年 1月

新春号



詩篇第 42 番より「谷川の流れるを鹿が慕うがごとく」・ナブッコより「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」・

メサイアより第 39 番「ハレルヤ」

2020年 11月 29日 コミュニティプラザ平野



新春のご挨拶

団長 大森利治

皆様 明けましておめでとうございます

皆様におかれましてはコロナ感染の収まらない厳しい状況下ではありましたが、厳かに新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年は全世界がコロナに翻弄された一年で、私達合唱団もその例外ではなかった事は皆様の知るところであります。しかし、自粛明けから 11 月のコンサートまでの間、皆様の活動からコロナに対する皆さんの勇気と元気を垣間見し、コロナ何するものぞ、という思いをしたのを覚えております。その結果、11月29日は奏でる側と聴く側との絆を深め、正に *Alle Menschen werden Brüder* を実感するクリスマスコンサートであったと思っております。この事は、私達の 2020 年の締め括りとして記憶に残るのではないのでしょうか。

さて、2021 年ですが、この一年は次のひらの混声合唱団創立 30 周年に向けての大切なスタートの年と位置付けています。その為に、皆さんが心一つにする様に "楽しくレベルアップ" をコンセプトとして定めたいと思えます。具体的には

- 1) 楽しく豊かなハーモニーを奏でる演奏会を開催する。これは合唱団の存在感を高め、入団を促すことにつながります。
- 2) 良い音楽を聴く機会を増やす。その為に団が優れた音楽会を紹介する。
- 3) 団員の絆を深める。それには懇親会の開催数を増やすのが有効かと考えます。
- 4) 皆さんの提案を実現する。

等を考えています。さらに、団員を増やす事に皆さんの叡智をお借りして臨みたいと思えます。

コロナ禍は今年一年では終息しないと言われている中、皆様におかれましては過去一年間学習したコロナ対策を継続して乗り切りましょう。早いコロナ終息を祈願して。

新年を迎えて

鹿岡晃紀先生

新年あけましておめでとうございます。

2020年は本当に大変な年でしたね。私にとっても一生忘れることのない一年になりました。マスクをし歌唱をするという大変イレギュラーな事態にも対応し、平野区民センターに響きわたった皆さんの歌声は本当に素晴らしかったです。歌唱指導をしてきた身としてあの場に立ち会えたことを誇りに思います。

さて、2021年は昨年出来なかったことをどんどんやっていく1年にしましょう！まだまだ予断を許さない状況ではありますが、できるかぎり前進していきたいと思っております。

昨年5月に演奏予定でした「水のいのち」を仕切り直してまた作り上げていく作業が待ってます。いつかひらの混声合唱団でチャレンジしたいと思っていた楽曲でもありました。必ずや成功させ、更なるスキルアップを目指しましょう！

とにかく今は新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。以前のように何の制限もなく心の底から気持ちよく歌える日が帰ってくることをただただ祈るばかりです。今年も一年どうぞよろしく願いいたします。

竹村美和子先生

明けましておめでとうございます。

昨年は大変辛い日々が続きましたが、ひらの混声合唱団の皆様には多大なご支援を賜りました。改めまして心より厚く御礼申し上げます。誠に有り難うございました。

昨年のあの素晴らしいクリスマスコンサートは、今も思い出すと胸が熱くなります。コロナも跳ね返すような皆様の凄い底力に圧倒され、心から感動致しました。

今年もマスクをして、距離をとって、という合唱にとっては大変困難な状況は続くと思われませんが、だからこそ心を合わせて、より一層素晴らしい音楽とハーモニーを創り上げられますように願っております。私も微力ながら精一杯お手伝いさせていただきます。コロナに負けず、平野の底力で頑張りましょう！

今年も宜しく願い申し上げます。



クリスマスコンサート

昨年11月29日（日）にコミュニティプラザ平野で開催した第20回平野区クリスマスコンサートは、新型コロナ禍の中無事終えることができました。大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会の豊田会長をはじめ事務局の皆様、および稲峰平野区長はじめ平野区役所の皆様の「With コロナ」の方針によるご支援のおかげです。また、助成・共催・協賛いただきました多くの関係者の皆様に感謝いたします。マスクをつけた団員のレッスンをご指導いただいた鹿岡先生・竹村先生、ありがとうございました。団員も強い気持ちをもって頑張りました。今回のコンサートはひら混の歴史の大きなひとコマになるでしょう。大変な危機を乗り越えた経験は後々の力になると信じています。



第九「合唱付き」第4楽章



オーソレミオ・彼女につげてよ



からたちの花・アヴェマリア



新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

クリスマスコンサート実行委員会では、コミュニティ協会平野区支部協議会の方々を中心に、次の4つのガイドラインを踏まえて新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を実施しました。

- ▽ 大阪市からの基本的な感染防止策に関する通知
- ▽ 全日本合唱連盟策定
- ▽ クラシック音楽公演運営推進協議会策定
- ▽ 公益社団法人全国公立文化施設協会策定

具体的対応策（抜粋）

- ・観客定員は例年の1/3以下の200名に減少
- ・コンサートの申し込みはハガキ応募とし、定員を超える申し込みがあった場合は抽選により決定
- ・追跡調査が必要になった場合のために、申し込みハガキにより観客の連絡先を把握
- ・症状のある方の入場制限（来館時に非接触温度計で体温チェック）
- ・受付時の接触感染防止策（アクリル遮蔽板の設置：右の写真、マスク・手袋の着用）
- ・チケットは領収書兼入場券として発行（半券を切らない）
- ・手指消毒用アルコールの設置を徹底
- ・入退出口を3か所設置して導線を確保
- ・換気のため、休憩時間は30分に延長
- ・団員、テレマン奏者（可能な限り）、観客、すべてマスク着用の徹底



実行委員会 後列左から 萩原、コミ協 小林氏、区役所 寺脇氏・岩田氏、坂野、竹田、後藤、鹿岡先生、コミ協 生野氏、テレマン 今井氏、前列左から 岡本、大森団長、コミ協会長 豊田氏



市松模様の観客席、手前側5m離れたの団員ステージ

人と人の距離等3密の回避

- ・演者間の距離（前後2m・左右1.5m）の確保（下の写真）
- ・演者と観客の距離5m確保（右の写真）
- ・観客の座席間は50cm以上確保（右の写真）
- ・団員控室（人数の多い女性控室では特に）では同じ方向にイスを並べ窓とドアを常時開放し換気、私語は慎む
- ・コンサート後の観客見送りは、ホールではなくステージから実施

このような多くの対策を講じた上でのコンサートの開催でした。開催に至る多くのみなさまのご理解とご協力に深く感謝いたします。



お客様の感想

- ♪いつもより心に響いてすごく良かったです。大変贅沢なひとときでした。記憶にしっかり残ります
 - ♪コロナ禍の中でのこのコンサートは忘れられないと思います。ありがとうございました。
 - ♪白い衣装にマスクをしての合唱団の人たちは厳肅な感じがして、素敵でしたよ。
 - ♪例年だと何となく聞いている来賓の方や団長さんの挨拶が、心にしっかり届きました。
- 本当にたくさんの方の協力があったのこのコンサート開催でしたね。抽選に当たって良かったわ！

2階ミキサー室でいつもいいお声でアナウンスをいただいています

住田郁子さん（フリーアナウンサー、元関西テレビキャスター）

平野で合唱を聞くとア～今年も終りが近いなあとしみじみ1年をふりかえります。
今回はいつもと何もかもが変わりましたが、ステージの下に整列された姿がとっても美しく心地好い演奏会でした。お揃いのマスク綺麗でしたよ～

プロフィール：桂南光、上岡龍太郎、上沼恵美子氏ら多数と共演。在阪各テレビ、ラジオ局のレギュラー番組で活動。現在は住田塾を主宰し老若男女、後進が活躍する為の勉強会で奮闘中。



ちょっとお勉強：「水のいのち」について

この曲は次の5曲から構成されています。歌詩の意味が難しいですね。文献（国立音楽大学附属図書館高田三郎書誌作成グループ編『人物書誌大系 31 高田三郎』、日外アソシエーツ、1995）の説明を次に抜粋します。

1. 雨：終始静かだが、全てのものにしとしとと落ちる雨を静けさの中で表出する音楽であり、全体の序曲の雰囲気を持っている。いかなる状況の者にもやさしく慈愛の雨が降り注ぐ様子を描いている。
2. 水たまり：ややリズムミク的な音楽で、降り注いだ雨が命を持ち、少しずつ動き出す前触れのような美しさを持つ。水たまりの泥に人間社会の醜さを写し、また水たまりの水面が美しい空を写すことで、人の焦がれる気持ちを表現している。
3. 川：拍子が頻繁に変化する。前者では語り手からの疑問、呼びかけ（あるいは命令）が呈示される。逆巻く川の激流が、人間たちの生きる悲しみや憧れといったものを代弁的に歌い上げるメロディと詩は美しく、強く印象に残る。
4. 海：たゆたう大きな海の描写であり、激しく動く部分はなく、全てを湛えて受け入れていく海の静かなさまを表出する。なお、作曲者は「演奏上の注意」などで、終盤で繰り返される海からのメッセージについて、大自然が人類へ詰問するように歌って欲しいという要望を記している。
5. 海よ：海に戻った水のいのちが再び空に昇り、雨となり川となり、また輪廻を繰り返す生の悲しみや喜びを表出する。全曲の中でこの曲のみ長大な曲となっており、曲も起伏に富んだスケールの大きい構成になっている。「水のいのち」が再び空に昇り、再び新たな水のいのちとして生まれていく姿を二長調で称えて終わる。

今後のコンサート予定

- ・大阪市コミュニティ合唱祭（2020年度）：2021年3月17日（水）午後5時開演 ザ・シンフォニーホール
演奏曲 ウィーン我が夢のまち・オーソレミオ・アムール河の波
- ・ひら混ジョイ・コーラス 2021年5月23日（日）時間未定 コミュニティプラザ平野
演奏曲 組曲「水のいのち」・エーデルワイス・真っ赤な太陽・ウィーン我が夢のまち・オーソレミオ・アムール河の波・大地讃頌
- ・大阪市コミュニティ合唱祭（2021年度）2021年9月25日（日）時間未定 旭区民ホール 演奏曲 未定
- ・平野区クリスマスコンサート 開催予定 詳細は未定

（広報 後藤、萩原：紙面の都合により編集後記は省略します）